



Close up だて



— できない理由ではなく
どうしたらできるのかを考えて —

おお いわ ま ゆ み
大岩 真由美さん
(末永町)



平成19年 FIFA女子ワールドカップ決勝戦(開催地:中国)で第4審判員(左)



世界での経験を子どもたちに伝えます

春、入学・就職などをきっかけに新しいことに挑戦したくなる季節ですね。今回お話をうかがった大岩真由美さんも、新しいことに挑戦し輝かしい成果を得た方のひとりです。

「中学生の頃、室蘭市の入江公園で行われたサッカーのインターハイをみて、なんて格好いいんだろ」と思いました。

この出来事をきっかけに、サッカー少年団のコーチを始め、19歳でサッカー審判員の資格を取得。27歳で上京して働きながら審判を務めます。

「できない理由を考えるのではなく、どうしたらできるのかを考えます。まずは一歩を踏み出す。そのくり返しでした。チャンスは誰にでも平等にあるけど、それに気づくかどうかでも違つと思えます」

33歳で国内女性初の1級審判員の資格を取得、平成19年女子ワールドカップで日本人女性初の主審を務めるなど世界を舞台に活躍します。

平成20年で現役を引退後、同22年から室蘭大谷高校(現・北海道大谷室蘭高校)女子サッカー部監督として指導にあたり、インターハイ8強という成績を残しました。

「これからは、経験したことを少しずつ地元に戻元できたらいいなと思います。サッカーの活動を通して、人を育てる分野でのお手伝いもしてみたい」と、目をキラキラさせながら話してくれた大岩さん。さらに新しいことに挑戦しようという前向きな気持ちが素敵でした。

皆さんも新しい一歩で世界が変わるかもかもしれません。まずはその一歩を踏み出してみませんか。

表紙のはなし



5月といえば何を連想しますか？広報担当者は「鯉のぼり」を連想しました。室内飾り用の小さな鯉のぼりを手に、広報紙表紙候補の写真を撮りに外に出ます。見渡す限りの青空の下、何枚もの写真を撮りましたが、五月人形の兜からめたこの1枚を選びました。いつもとは少し趣向を変えた今月号。いかがでしたでしょうか。

楽画記

- 4月1日から「伊達市公式Facebook」が始まりました。行政情報やさまざまなイベントの様子、まちのちょっとした出来事などを皆さんにお届けしたいと思います。その他にも「こんな情報がほしい」など、ご意見があればぜひお寄せください。それとご覧いただいた方は「いいね」を押していただくと幸いです(笑)(た)
- 5年前この場所で「今年は昭和でいうと何年？」と書きました。あれから5年、今年はちょうど「昭和90年」。未だに昭和の年で数えないと時間の経過がわかりづらい私は、昭和ペースの考え方から抜けられないところか日に日に昔に戻っているみたい…最近では昭和のCM曲が頭の中でずっとかかっています。(や)
- 今号のクローズアップで取材させていただいた大岩さん。お話をうかがううちに、こちらまで前向きにさせてくれる優しいエネルギーに溢れた方でした。反面、自分が新しいことを始めたいと思いつつもできない理由を探して何も始めていないことに気付かされました。まずは始める。その行動力を見習いたいと思います。(と)